

プログラム

◆4月21日(土) 1日目：第1会場（記念講堂）

テーマ講演

(10:00~11:00)

座長：明治薬科大学 名誉教授 緒方 宏泰

標準薬物治療を実践しよう！
～薬物治療を科学的、合理的に行うために～

金城学院大学 薬学部
○網岡 克雄

◆4月21日(土) 1日目：第1会場（記念講堂）

特別講演

(14:30~15:15)

座長：聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部 増原 慶壮

医療保険の視点からの薬剤適正使用

厚生労働省保険局医療課
○吉田 易範

◆4月21日(土) 1日目：第1会場（記念講堂）

教育講演

(15:15~16:15)

座長：明治薬科大学 薬学治療学 越前 宏俊

健康食品の安全性・有効性情報

(独) 国立健康・栄養研究所
○梅垣 敬三

◆4月21日(土) 1日目：第1会場（記念講堂）

シンポジウム1

(11:00~13:00)

薬物治療に責任を持てる薬剤師の教育を考える

座長：明治薬科大学 薬物治療学 越前 宏俊
昭和大学 薬学部 薬学教育推進室 木内 祐二

S1-1 アウトカム基盤型教育
－医学教育の質保証をめざす千葉大学医学部の取組み－
千葉大学大学院医学研究院・医学部
○田邊 政裕、朝比奈真由美、伊藤 彰一、前田 崇

S1-2 開局薬剤師の臨床判断からトリアージまで：
地域住民の健康に責任を持つ薬剤師の育成を目指して
ファルメディコ株式会社／一般社団法人 在宅療養支援薬局研究会
○狭間 研至

S1-3 もう始まっている大学での薬学生に対するフィジカルアセスメント教育
九州保健福祉大学薬学部¹⁾、神戸学院大学薬学部²⁾
○徳永 仁¹⁾、高村 徳人¹⁾、緒方 賢次¹⁾、瀬戸口奈央¹⁾、内海 美保²⁾、佐藤 圭創¹⁾

◆4月22日(日) 2日目：第1会場（記念講堂）

シンポジウム2【第1部】 (9:30~10:50)

標準薬物治療の実践を妨げるものは何か？

座長：崎山小児科 崎山 弘
榊原記念病院／榊原記念クリニック 循環器内科 住吉 徹哉

S2-1-1 患者のために開業医と薬剤師はどう関わるべきか
崎山小児科
○崎山 弘

S2-1-2 院内情報システムを活用した理想的な情報共有をめざして
～Hospital Information System を用いた試み～
(公財)日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院 循環器内科¹⁾、薬剤科²⁾
○高見澤 格¹⁾、住吉 徹哉¹⁾、浜田 寛子²⁾、大野 哲郎²⁾

S2-1-3 価値観の共有 - 意識と責任 -
川崎市立多摩病院 薬剤部
○八田 重雄

シンポジウム2【第2部】 (11:00~12:20)

保険薬局でまずやるべきこと

座長：東京医科大学病院 薬剤部 明石 貴雄
(株)エイトライフ 白井 正一

S2-2-1 薬局サービスのあり方
あおば薬局
○石垣 栄一

S2-2-2 保険薬局における疾患啓発・受診勧奨
日本調剤(株)教育情報部
○福岡 勝志

S2-2-3 保険薬局における副作用モニター

(株)アインファーマシーズ 研修部
○川瀬 祐子

S2-2-4 医師が保険薬局に期待すること・望むこと

東京女子医科大学循環器内科
○志賀 剛

◆4月22日(日) 2日目：第1会場（記念講堂）

シンポジウム3

(14:10~16:10)

.....
これからのセルフメディケーション

座長：(有)つるや薬局 秋本 常久
(株)アインファーマシーズ 川瀬 祐子

S3-1 これからのセルフメディケーション

日本 OTC 医薬品協会
○西沢 元仁

S3-2 地域医療対応型ドラッグストアにおける生涯学習を含めた一般用医薬品販売教育

スギメディカル株式会社 教育事業部部長、杉浦地域医療振興財団 事務局長
○榊原 幹夫

S3-3 一般用医薬品販売における薬剤師のトリアージ

株式会社 ほうしや薬局
○安田 幸一

◆4月22日(日) 2日目：第2会場（第2臨床講堂）

シンポジウム4

(14:10~16:10)

.....
薬物治療に参画するための体制作り

座長：聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部 増原 慶壮
亀田総合病院 薬剤部 佐々木忠徳

S4-1 ぶれないビジョンの実現に向けて～継続的なステップアップ～

聖マリアンナ医科大学病院薬剤部
○上塚 朋子

S4-2 薬物治療の標準化推進の意義と薬剤師の使命

亀田総合病院薬剤部
○鈴木 正論

S4-3 全員参加型の薬剤師病棟常駐体制の構築と薬物療法への参加

高知医療センター薬剤局

○橋田 真佐

◆4月21日(土) 1日目: 第1会場(記念講堂)

学会企画シンポジウム 委員会活動の紹介・報告

(16:30~18:00)

座長: 大和市立病院 薬剤科

田中 恒明

聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部

有木 宏宗

C-1 高血圧治療における降圧配合剤の使用とその有用性に関する検討

明治薬科大学¹⁾、日本調剤株式会社²⁾、

日本アプライドセラピューティクス学会保険薬局委員会³⁾

○赤沢 学^{1,3)}、福岡 勝志^{2,3)}、緒方 宏泰³⁾

C-2 薬剤師の臨床判断ワークショップについて

ファルメディコ株式会社¹⁾、日本アプライドセラピューティクス学会 OTC 薬検討委員会²⁾

○狭間 研至^{1,2)}

C-3 主要約 60 疾患別の「SOAP マスターファイル」の作成の目的、およびその臨床適用
- 市中肺炎を例に -

大田原赤十字病院 薬剤部¹⁾、疾患毎の SOAP マスターファイル作成のためのワーキンググループ²⁾

○中藪 健一^{1,2)}、高野 尊行^{1,2)}

C-4 DPC データを用いた標準薬物治療の実施状況調査に関する研究~その背景

標準薬物治療の実施状況と臨床アウトカムに関する、DPC データに基づく調査研究グループ¹⁾、

東大病院 NUDBC²⁾、東京大学大学院薬学系研究科³⁾、明治薬科大学⁴⁾、多摩大学⁵⁾、

DPC マネジメント研究会⁶⁾、日本アプライド・セラピューティクス学会⁷⁾

○今井志乃ぶ^{1,2)}、草間真紀子^{1,3)}、川名 純一^{1,4)}、赤沢 学^{1,4)}、石富 充^{1,6)}、

真野 俊樹^{5,6)}、緒方 宏泰^{1,7)}

◆4月21日(土) 1日目: 第1会場(記念講堂)

ランチョンセミナー 1 (13:10~14:10)

座長: 明治薬科大学 公衆衛生・疫学 赤沢 学

DPC と地域医療連携

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 環境社会医学講座 医療政策情報学分野

○伏見 清秀

共催: 日本ケミファ株式会社

◆4月21日(土) 1日目:第2会場(第2臨床講堂)

ランチョンセミナー2

(13:10~14:10)

座長:神奈川県立がんセンター 薬剤科 櫻井 学

がん化学療法の支持療法のエビデンスと実践

日本医科大学武蔵小杉病院 腫瘍内科

○勝俣 範之

共催:日本化薬株式会社

◆4月21日(土) 1日目:第3会場(第1臨床講堂)

ランチョンセミナー3

(13:10~14:10)

座長:日本大学医学部内科学系 血液膠原病内科学分野 武井 正美

関節リウマチのパラダイムシフト -生物学的製剤を中心に-

板橋中央総合病院 内科

○原岡 ひとみ

共催:中外製薬株式会社

◆4月22日(日) 2日目:第1会場(記念講堂)

ランチョンセミナー4

(12:35~13:35)

座長:医療法人前橋北病院 山岡 和幸

アルツハイマー型認知症治療薬について考えよう ~医薬品を正しく評価するために~

社会福祉法人浴風会 浴風会病院/日本アプライド・セラピューティクス学会医薬品評価委員会

○菅沼 豪

共催:エーザイ株式会社/ファイザー株式会社

◆4月22日(日) 2日目:第2会場(第2臨床講堂)

ランチョンセミナー5

(12:35~13:35)

大うつ病性障害の診療ガイドライン

座長:北里大学医学部附属臨床研究センター 熊谷 雄治

1 大うつ病性障害の診療ガイドライン

入間平井クリニック

○平井 茂夫

2 大うつ病性障害薬物治療の SOAP マスターファイル

桜ヶ丘記念病院
○橋尾 実

共催：テバ製薬株式会社

◆4月22日(日) 2日目：第3会場(第1臨床講堂)

ランチョンセミナー6

(12:35~13:35)

乳がんの診療ガイドライン

座長：神戸市立医療センター中央市民病院 橋田 亨

1 ガイドラインの賢い使い方

圭友会 浜松オンコロジーセンター
○渡辺 亨

2 乳がん薬物治療の SOAP マスターファイル

圭友会 浜松オンコロジーセンター
○宮本 康敬

共催：日本ジェネリック製薬協会

◆4月21日(土) 1日目：第2会場(第2臨床講堂)

一般演題1

(16:30~17:20)

座長：武蔵野大学 薬学部 臨床薬学センター 三原 潔
(独)医薬品医療機器総合機構 川名 純一

1-1 赤色スケールを用いた皮膚炎症発赤の客観的評価方法の検討
- 胃瘻造設患者の瘻孔周囲炎症を評価する試み -

東京理科大学薬学部¹⁾、東京理科大学大学院 理工学研究科 情報科学専攻²⁾
○小原 脩平¹⁾、小藤あずさ¹⁾、青野 史¹⁾、柳原 千賀¹⁾、篠田 覚²⁾、小茂田昌代¹⁾

1-2 本邦 OTC 解熱鎮痛薬の頭痛に対する科学的根拠に関する調査研究

草加市立病院 薬剤部¹⁾、明治薬科大学 薬物治療学教室²⁾、
日本アプライド・セラピューティクス学会 OTC 薬検討委員会³⁾、聖路加国際病院 薬剤部⁴⁾
○高橋 雅弘^{1,2,3)}、津田 泰正^{3,4)}、源川 良一¹⁾、小川 竜一²⁾、越前 宏俊²⁾、
緒方 宏泰³⁾

1-3 持続的血液濾過透析による薬物除去の影響因子と除去の寄与率に関する考察

明治薬科大学 薬剤学
○花田 和彦、本木麻里子、緒方 宏泰

1-4 重篤副作用の早期回避を目指した臨床薬剤師支援システムの構築

東京理科大学薬学部¹⁾、順天堂大学医学部附属順天堂医院乳腺科²⁾
○齋藤 隼¹⁾、水田 貴大¹⁾、天津 怜¹⁾、篠原 絃子¹⁾、吉田 早希¹⁾、大登 剛¹⁾、
深田祐羽妃¹⁾、布施 春奈¹⁾、杉山奈津子¹⁾、石井 直子¹⁾、小茂田昌代^{1,2)}

1-5 プレガバリンによる副作用発現に関与する因子の考察

社会福祉法人日本医療伝道会総合病院衣笠病院薬剤科¹⁾、日本大学薬学部薬物治療学研究室²⁾、
日本大学薬学部臨床薬物動態学研究室³⁾
○小瀬 英司^{1,2)}、齊田みゆき¹⁾、林 宏行²⁾、松本 宜明³⁾

◆4月21日(土) 1日目：第3会場（第1臨床講堂）

一般演題2

(16:30~17:30)

座長：聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部 濱野 公俊
東京女子医科大学病院 治験管理室 長沼美代子

2-1 ボイスレコーダーを使用したインシデント収集に関する検討

日本調剤慶應堂薬局¹⁾、日本調剤白石薬局²⁾、日本調剤(株)札幌支店薬剤部³⁾、日本調剤(株)
教育情報部⁴⁾

○高橋 正樹¹⁾、石川 正憲²⁾、水上夏那子²⁾、井澤佐知子²⁾、水谷 和代²⁾、武田 直美²⁾、
今 美紀²⁾、矢野根和隆³⁾、伊藤 章良⁴⁾、福岡 勝志⁴⁾

2-2 保険薬局における糖尿病患者への療養指導の現状調査 ～病薬連携にむけて～

東京医科大学病院 薬剤部
○坂倉 圭一、濱田 泰子、明石 貴雄

2-3 薬剤商品名由来の事典作成と薬名記憶への活用：臨床実習前学生教育の一環として

明治薬科大学・病態生理学
○石橋 賢一

2-4 病棟常駐薬剤師における処方への関与と情報提供

帝京大学ちば総合医療センター
○櫻井 宏大、田尻 千晴、三浦 幹剛、清水 秀行

2-5 薬剤師の新たな臨床技能の習得を目指した体験型研修会の取り組み

昭和大学薬学部¹⁾、昭和大学医学部²⁾
○鈴木 千佳¹⁾、亀井 大輔¹⁾、増田 豊^{1,2)}、木内 祐二¹⁾

2-6 地域連携による禁煙治療に向けたCDTMプロトコルの提案

日本大薬¹⁾、東京薬大薬²⁾、望星薬局³⁾、フローラ薬局⁴⁾
○川本 理奈¹⁾、滝田 尚子¹⁾、渡邊 文之¹⁾、亀井美和子¹⁾、倉田 香織²⁾、土橋 朗²⁾、
原 和夫³⁾、篠原久仁子⁴⁾